



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社くふうカンパニーホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4376 URL <https://kufu.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役 (氏名) 菅間 淳 TEL 03-6264-2323
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	11,493	15.6	672	223.9	746	300.9	489	—
2025年9月期第3四半期	9,938	△13.7	207	△39.5	186	△25.4	△312	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 381百万円 (—%) 2025年9月期第3四半期 △469百万円 (—%)
EBITDA 2026年9月期第3四半期 1,453百万円 (34.6%) 2025年9月期第3四半期 1,079百万円 (△4.8%)
「EBITDA」は、営業利益に減価償却費及びのれんの償却額を加えて算出したものであります。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	8.14	—
2025年9月期第3四半期	△5.23	—

(注) 2026年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。2025年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	17,566	10,296	47.3
2025年9月期	16,485	9,635	48.5

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 8,313百万円 2025年9月期 8,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	17,000	20.5	1,000	91.3	2,000	17.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) 株式会社アトリエはるか他3社、除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	60,415,372株	2025年9月期	59,887,595株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	98,797株	2025年9月期	98,074株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	60,150,316株	2025年9月期3Q	59,789,673株

(注) 当社の一部の連結子会社は、株式給付信託型ESOPを導入しており、株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当社グループは“「くふう」で暮らしにひらめきを”を経営理念とし、「毎日の暮らし」及び「ライフイベント」において、生活者であるユーザーにとっての利便性や豊かさを最優先に考え、情報格差の解消や利便性の高いサービスづくりに取り組むとともに、ユーザーの主体的な意思決定や行動に繋がる価値提供を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は11,493百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は672百万円（前年同期比223.9%増）、経常利益は746百万円（前年同期比300.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は489百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失312百万円）となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は次のとおりであります。

<毎日の暮らし事業>

当事業は主に、株式会社くふうカンパニーによるチラシ・買い物情報サービス「くふう トクバイ」やオンライン家計簿サービス「くふう Zaim」等の事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、主力のくふうトクバイは、前年度に実施した事業統廃合やコスト削減による構造改革の効果が継続し、引き続き安定的に利益を創出いたしました。また、主要業態における定額課金店舗数の積み上げを進めるとともに、売上高の再成長に向けた取り組みを一層強化いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における毎日の暮らし事業の売上高は2,094百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は726百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

<ライフイベント事業>

当事業は主に、株式会社くふう住まいコンサルティング、株式会社くふう住まい、株式会社くふうウェディング各社の主要事業である住まいFC事業、住まい相談事業、ウェディング事業、自社施工その他の事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、住まいFC事業は、業績が安定的に推移いたしました。住まい相談事業は、新規相談カウンターの出店など対応エリアの拡大と併せ、オペレーションの最適化により収益性が改善しました。ウェディング事業は、市場環境の厳しさが続く中、多様化するニーズを捉えた国内カジュアルウェディング事業のサービス展開が新たな顧客層の獲得に寄与し、売上高・利益ともに伸長しました。一方、自社施工その他の事業は、工期の長期化等により竣工棟数が相対的に少なかったことから、売上高・利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるライフイベント事業の売上高は6,292百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は400百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

<投資・インキュベーション事業>

当事業は主に、子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」を提供する株式会社キッズスター、富裕層向けコンサルティングサービスを提供する株式会社Seven Signatures International、スポーツ型のアミューズメントパーク施設「ニンジャ☆パーク」を運営する株式会社ゴールドエッグス、ヘアメイクを主力とする美容サロン「アトリエはるか」を展開する株式会社アトリエはるかによる各事業、当社及び株式会社くふうキャピタルによる投資事業で構成されております。

当第3四半期連結累計期間において、第2四半期会計期間より連結子会社とした株式会社アトリエはるかの損益連結が引き続き業績に寄与した一方、比較対象となる前第3四半期連結累計期間に株式会社Seven Signatures Internationalの大型案件があったことの反動等により、売上高は前年同期実績を上回ったものの、利益は下回りました。また、グループの事業効率向上を図るため、株式会社くふうしずおかの全事業を株式会社くふうカンパニーに譲渡いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における投資・インキュベーション事業の売上高は3,167百万円（前年同期比59.8%増）、営業利益は193百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,566百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,080百万円増加しました。これは主に現金及び預金が644百万円、その他流動資産が419百万円増加したことによるものであります。

負債は7,269百万円となり、前連結会計年度末と比較し420百万円増加しました。これは主に長期借入金が400百万円増加したことによるものであります。

純資産は10,296百万円となり、前連結会計年度末と比較し660百万円増加しました。これは主に利益剰余金が878百万円、非支配株主持分が347百万円増加した一方、資本剰余金が395百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年11月14日の「2025年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、現在の中東情勢の緊迫化に伴う原材料価格の高騰や資材供給の遅延等が業績に影響を及ぼす可能性については、引き続き注視しております。ただし、現時点においてその影響の範囲及び程度を合理的に見積もることが困難であるため、上記業績予想への反映は行っておりません。今後、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,434	8,078
売掛金	1,010	1,212
商品	49	112
仕掛品	46	111
原材料及び貯蔵品	11	9
販売用不動産	1,673	1,443
営業投資有価証券	1,889	1,609
その他	658	1,078
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	12,769	13,650
固定資産		
有形固定資産	535	834
無形固定資産		
のれん	739	526
その他	1,115	1,164
無形固定資産合計	1,854	1,691
投資その他の資産		
繰延税金資産	720	579
その他	685	826
貸倒引当金	△89	△21
投資その他の資産合計	1,316	1,383
固定資産合計	3,706	3,909
繰延資産		
株式交付費	9	5
その他	0	0
繰延資産合計	10	6
資産合計	16,485	17,566

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	584	434
短期借入金	1,969	1,909
1年内返済予定の長期借入金	953	927
未払法人税等	142	187
契約負債	1,196	1,482
賞与引当金	—	15
ポイント引当金	4	3
訂正関連費用引当金	45	—
その他	1,004	980
流動負債合計	5,899	5,939
固定負債		
長期借入金	473	874
資産除去債務	225	242
繰延税金負債	12	4
株式給付引当金	74	70
その他	164	139
固定負債合計	950	1,330
負債合計	6,849	7,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	30	77
資本剰余金	8,620	8,225
利益剰余金	△299	578
自己株式	△32	△32
株主資本合計	8,318	8,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△323	△557
為替換算調整勘定	7	21
その他の包括利益累計額合計	△316	△536
新株予約権	2	4
非支配株主持分	1,631	1,978
純資産合計	9,635	10,296
負債純資産合計	16,485	17,566

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	9,938	11,493
売上原価	4,341	5,136
売上総利益	5,597	6,356
販売費及び一般管理費	5,389	5,684
営業利益	207	672
営業外収益		
受取利息	4	20
為替差益	—	25
貸倒引当金戻入額	—	64
その他	17	24
営業外収益合計	22	135
営業外費用		
支払利息	29	44
株式交付費償却	3	3
支払手数料	5	1
為替差損	1	—
その他	3	12
営業外費用合計	43	61
経常利益	186	746
特別利益		
解約清算金	—	303
株式給付引当金戻入益	5	2
訂正関連費用引当金戻入益	—	45
その他	1	7
特別利益合計	7	358
特別損失		
固定資産除却損	23	18
減損損失	114	3
事業譲渡損	60	—
事業整理損失	—	16
訴訟関連損失	—	8
その他	15	2
特別損失合計	213	48
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失（△）	△20	1,056
法人税、住民税及び事業税	300	253
法人税等調整額	△113	203
法人税等合計	186	457
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△207	598
非支配株主に帰属する四半期純利益	105	109
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△312	489

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△207	598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	△233
為替換算調整勘定	0	16
その他の包括利益合計	△262	△217
四半期包括利益	△469	381
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△574	269
非支配株主に係る四半期包括利益	105	111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベー ション事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,047	5,917	1,912	9,877	—	9,877
その他の収益	—	—	60	60	—	60
外部顧客への売上高	2,047	5,917	1,973	9,938	—	9,938
セグメント間の 内部売上高又は振替高	61	10	8	79	△79	—
計	2,109	5,927	1,981	10,018	△79	9,938
セグメント利益	546	462	275	1,284	△1,076	207

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益950百万円及び全社費用△972百万円、セグメント取引消去△552百万円、のれんの償却額△492百万円、未実現利益の調整額△8百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフイベント事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。当該減損損失計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、96百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	毎日の 暮らし事業	ライフ イベント 事業	投資・イン キュベー ション事業	計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	2,050	6,277	3,093	11,421	—	11,421
その他の収益	—	—	71	71	—	71
外部顧客への売上高	2,050	6,277	3,165	11,493	—	11,493
セグメント間の 内部売上高又は振替高	44	15	2	62	△62	—
計	2,094	6,292	3,167	11,555	△62	11,493
セグメント利益	726	400	193	1,319	△647	672

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社収益956百万円及び全社費用△751百万円、セグメント取引消去△528百万円、のれんの償却額△332百万円、未実現利益の調整額8百万円が含まれております。全社収益は、各事業会社からの経営支援料が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「投資・インキュベーション事業」において1,787百万円増加しております。その主な要因は、当第3四半期連結累計期間において、株式会社アトリエはるかの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことによるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、当社が株式会社アトリエはるかの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、投資・インキュベーション事業セグメントにおいて、のれん132百万円が発生しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月23日開催の取締役会において、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の欠損額の補填に充当することを内容とする剰余金の処分を行うことを決議・実施したことにより、資本剰余金が388百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。また、当社は、2025年12月26日付で第三者割当による新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ47百万円増加しております。これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が77百万円、資本剰余金が8,225百万円、利益剰余金が578百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	362百万円	434百万円
のれんの償却額	509	345